

衆議院選挙

チェンジ! 投票に行こう
期日前投票
10月16日(水)~26日(土)
投開票日 10月27日(日)
E-mail lapaz@chihyo.jp
URL http://www.chihyo.jp

TOKYO

はたらく仲間

258

2024年10月15日
(毎月15日発行)

発行 東京地方労働組合
評議会(東京地評)
定価 1部40円(送料別)
〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10
東京労働会館
TEL 03(5395)3171
FAX 03(5395)3240



ジ・エンド 自民党政治「戦争法廃止! 裏金政治を終わらせよう!」(9・19日比谷集会)

東京地評第23回定期大会

労働法制の大改悪阻止、最賃1700円めざす



賃上げやスト、長時間労働の改善、公共の再生で討議

東京地評大会は9月29日、すみだリバーサイドホールを会場に、代議員207人(31単産136人、37地域71人)、特別代議員6人、来賓10人、幹事等55人、傍聴等7人、争議団13人の総数298人が参加しました。

すべての労働者の賃上げ
対話と学びで仲間をふやそう

加藤裕子さん(都教組)、高松栄次郎さん(東京医労連)、菅原一茂さん

30年に渡り、賃金抑制と非正規労働者の増加により、実質賃金が低下し、長時間労働、ハラスメント、過労死など深刻な労働環境となっております。これらを解決する手立ては、労働組合が強く、大きくなることなしに実現できません。喫緊の課題として、労働基準法の解体を許さない闘いが重要となっております。政府の審議会では、

矢吹新議長あいさつ



矢吹義則さん

労基法を骨抜きにし、おおよそ解体する議論が進んでいます。1日8時間労働という最低規制をなくしてしまおう暴論です。こんな策動を許すわけにはいきません。誰もが、人間らしく生き、働き続けられる職場をつくるために東京地評に団結し、労働法制を守り発展させていくことを呼びかけて、あいさついたします。

厳しき暮らし
暮らし増す暮らし
労組の真価発揮へ

事務局長 総括答弁

全労協事務局長は「最賃運動がすべての労働者に関わるものとの世論が広がっている。しかし最賃が政府の意向に沿って決定する動きは問題だ。労働組合が対等に議論し賃金決定する流れを作っていく必要がある。」と述べました。政党内には宮本徹衆議院議員(共産)と伊地智恭子多摩市議(社民)が参加し、宮本議員は「ハローワーク職員3万人のうち2万人が、1年契約の非正規公務員だった。166人と少ないが今年常勤化が図られた。さらに3年に一度、公募を受け直すルールも撤廃され、地方自治体も同様の通知が出て、雇用改善となった。世論を背景にした道理ある提案は政治を動かす。皆さんとスクラムを組んで、働く者のための政治実現に頑張る。」と参加者を激励しました。

28の加盟組織から方針補強がありました。春闘や賃上げ、労働条件の改善には、一致する要求や職場での粘り強い討議を行い、仲間が依拠した運動を展開すれば前進することを明らかにしました。要求は必ず実を結び、JMITUでは1年、2年で解決しないことも何年越しで成果を作っている経験と長い時間をかけて取り組んだ全国初の実績が報告されました。労働組合の潮流を越えた連帯は、現場や地域から作られる好事例です。昨年新宿で行われた公約新例シンポジウムでも国民春闘事務局長、連合審議委員も一堂に会して行われました。政治と同じように労働組合の闘いでも下からの統一戦線、潮流を越えた統一が可能で、頂いた補強意見を携えて大会方針に団結し、一年間皆さんと粘り強く奮闘していきます。

総選挙にのぞむ

事務局 井澤智

石破新首相は、総裁選までの言動を翻し、10月15日公示、27日投開票で総選挙を実施すると豹変しました。構造的腐敗である裏金政治と統一協会など「カルト汚染」を隠蔽し、争点を隠し、野党の足並みがそろう前に解散する党利党略がむき出しになっています。今衆議院選挙は、岸田前首相が国民生活を顧み

裏金・統一協会に審判
市民と野党の共闘で政権交代を

国民の怒りが高まり、退陣へと追い込まれた結果です。しかし石破首相は、国民生活の苦難に解決策を示さず、裏金・統一協会を擁護する姿勢

東京地評は、第23回大会・第4号議案で総選挙方針を確定。労働組合の要求を実現できる候補者、単産と地域組織の要

求と一致点で候補者を選挙区ごとに分析し、組合員に必ず投票に行くよう促します。市民と野党の共闘は、都知事選挙のたたかいで一層と強固になっていきます。今衆議院選挙は「二部の野党が一時的にブレ」ていますが、歴史を重んじてきた市民と野党の共闘はブレていません。選挙区ごとに市民と野党で熟議し、政権交代へとつながる発展的な努力を積み上げましょう。